

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「自らのロータリーストーリーを
作りましょう」

高田ロータリー
今年のスローガン

「善意を深め、
奉仕の力を昂めよう」



インスピレーションになるろ

2018～2019年度

国際ロータリー会長 バリー・ラシン
2560地区ガバナー 川瀬 康裕
高田ロータリー会長 牧野 章一
幹事 佐藤 教彦

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
堀井 靖功 岩崎 幹男 宮川 大樹

第11回例会 ■ 9月21日(金)

No. 11

直々前会長挨拶 ● 本山 秀樹



今日は牧野会長、橋詰直前会長とも例会を欠席ということで、直直前会長の私に挨拶の機会が回ってきました。

先週は職業奉仕委員会の職場訪問ということで会員企業の「岩の原葡萄園」を訪問し、美味しいワインと料理を頂くというスペシャルメニューでした。神田社長様から岩の原葡萄園の今後の経営戦略の一端をお聞きし感服しました。私もまず自社の現状認識を改めて考えているところです。会では、岩の原の美味しいワインを沢山飲まさせて頂きました。最後にヘリテージが出され慌てて飲み干した次第で多少迷酔しましたが、楽しい会でありました。

翌日の15日には大谷ガバナーエレクト事務所の開所式が料亭宇喜世にて開催されました。

ただ、この開所式が大谷ガバナー年度の実質的なスタートになります。パストガバナーの皆様も言われていましたが、第7分区代表のガバナーですので、難しい面も多々ありますが高田ロータリークラブがやはり中心でありますので、ご支援、ご協力を宜しくお願いします。

出席報告

出席率 100%

ビジター

三条 RC :

地区大会実行委員長 齋藤 弘文君
地区大会副実行委員長 丸山 行彦君
地区大会懇親会委員長 柳取 崇之君

メイクアップ

大谷光夫君・東山昕也君・佐藤教彦君・本山秀樹君・水上喜芳君・橋詰敏一君・齋藤尚明君・中田 正君・飯塚宏佳君・佐藤憲二君・遠藤 巖君・箕輪賢一君（9/15 大谷ガバナーエレクト事務所開所）大谷光夫君・中田 正君・チャーリー君（9/17 派遣学生帰国報告会）大谷光夫君・本山秀樹君・水上喜芳君・佐藤教彦君（9/25 第7分区事務局会議）

ニコニコBOX紹介

田中正人君——昨夜二人目の孫（二男）が無事産まれました。益々「育ジュー」で忙しくなります。三条 RC——本日はよろしくお願ひいたします

お客様スピーチ

地区大会実行委員長 齋藤 弘文君
地区大会のご案内

委員会報告

社会奉仕委員会——10/6 高田駅前植栽プランター設置事業のご案内
米山奨学委員会——寄付のお願い
親睦委員会——10/12 お月見例会のご案内

幹事報告

配布物：週報No.9・10
回 覧：ストリングスアンサンブルの調べの案内・国際ソロプチミスト上越会報・高田駐屯地広報「妙高」・11/13 これからの地域と仕事の未来を語ろうパンフ
報 告：10/8 ストリングスアンサンブル(糸魚川・糸魚川中央 RC) 招待チケット3枚

卓話

高田の古い雁木のまちでは、こんなことが…



ち再生

一般社団法人雁木のまち再生 代表理事 **関 由有子 様**

平成16年のあわゆき組スタート時点から今日までの変化は

◆中心メンバーは多忙になり、高齢化して疲れやすくなった。

→今春から次世代にバトンタッチ。あわゆき組も雁木町家で継続。

→現役の高校生や県外在住の男性も参加。役割分担で活性化している。

→起業、独立、結婚、移転、介護や病気などを経て、変化と不変。

◆地元店舗との協働に、前向きな姿勢が見え始める。

→スイーツなど、手作りから、地元のお店に委託できる安心感ができた。

→雁木界限にも、新しくカフェや移転ショップができた。

◆高校生コラボによる『あわゆき読みかたり』が継続。

→高田小町界限の活性化と高田世界館の維持活動に連携する。

◆高田世界館と高田警女の活動が定着。取材と発信で情報の質量ともに増加。

→大学生の研究、見学やまちづくり活動の研究取材で訪問者が増えている。

◆市民活動の地域間交流が促進している。

→新潟県まちなみネットワークの活動を雁木のまち再生で継承

◆旧今井染物屋を上越市が取得して見学公開のまま14年

→地方創生モデル事業の一つとして歴史資源活用促進（雁木のまち再生）

→委託事業で活用の社会実験を2年継続、次年度からはハード整備へ。

さらに10年後を考えてみた。すでに具体化、実現しているものがある。

◆東京圏、北陸から関西圏にも、市民活動の連携が進む。（北陸新幹線効果）

→全国街なみ連盟に参加、相互交流から地域性を磨く。昨年から具体化

◆雁木で角巻を着て歩いた子どもたちが成長、活動を引き継ぐ。

◆落ち着いた雰囲気のある雁木の街なみとその暮らしが見直される。

→在宅の職種を中心に、若い世代の住民が増える。

→もの作り、Uターン・Iターン、雁木コミュニティの継承。

◆越後高田の雁木のまちを訪れる人々に、町家ゲストハウス&カフェ。

◆コンパクトシティ見直し、雁木の役割は大きくなる。

◆災害や社会変動に対する備え、構えを、雁木の歴史として伝えられないか。

私もひとこと

楽しみ2割不安8割



私が高田ロータリーに入るようになったのは2016年の7月でした。

それを遡ること3カ月前、ある居酒屋のカウンターで一人飲んでいる

とそこに2人の方が「横、良いですか？」と来られました。それが当時会長エレクトの

の本山さんと次期幹事の中田さんでした。「飯塚さんそろそろロータリーに入らない？」という非常に

気軽に勧誘について「前向きに検討します」と答えてしまいましたが、その後考える時間をいただきこれも「縁」なのだろうなと思

い入会させていただき事を決めました。

7月の入会時、初めてデュオ・セレッソでの例会に参加したときに、お顔を存じ上げてた方が数名いらっしゃったので大変安心したことを覚えて

地区副幹事 **飯塚 宏佳 君**

いますが、何より初対面の方々が大変暖かく迎えてくださったのが印象的でした。何の実績もない若輩の私に気軽に接する雰囲気を作ってください、早いうちから溶け込ませていただけて感謝しています。

青少年奉仕委員会に所属したことで、沢山のローターアクターや他クラブのロータリアンとも交流することができ、2年間楽しく過ごさせていただきました。

今年度は急遽2560地区の副幹事を仰せつかり、まだ何もわからずご迷惑をおかけしております。新たな出会いもあり、楽しみ2割不安8割という感じですがどうぞよろしくお願いいたします。

10月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
13	10月5日	会員卓話 宮川 大樹君 演題 未定	デュオ・セレッソ
14	10月12日	お月見例会 <夜例会>	長養館
15	10月19日	卓話 上越地域医療センター病院薬剤科薬局長 宮川 哲也様 演題 未定	デュオ・セレッソ
16	10月26日	会員卓話 小林 晴彦君 演題 未定	デュオ・セレッソ